

2007年1月16日公表

各 位

2006年度「道内新入社員半年間の意識の変化
ならびに道外新入社員との意識の比較」(要旨)
北海道生産性本部

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より当本部の諸活動につきまして格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、北海道生産性本部(会長 濱田 賢一)では、(財)社会経済生産性本部 経営革新部と共同で新入社員入社後半年間の意識変化の把握を目的に、「若者意識アンケート・秋編」を実施し、集計・分析のうえ、昨年12月20日、調査結果を公表しているところです。今回、当本部では更にこの調査データの中から道内分を抽出し、「道内新入社員半年間の意識の変化ならびに道外新入社員との意識の比較」を試みました。

つきましては、以下のとおり、本調査の要旨をお届け致しますので、次世代を担う若手従業員についての情報として、ご活用いただければ幸いに存じます。

敬具

記

1. 調査方法：

道内データについては、2006年10月に実施した当本部主催の新入社員フォローアップ研修時および調査依頼企業内における新入社員フォローアップ研修時等に「若者意識アンケート・秋編」を配布し、回収した588通について集計・分析した。(道内データ回収率89.6%、比較対象道外データ702通)

※各設問の未回答者分は削除してあります。

2. 添付書類：

(1) 本調査要旨(本紙含め6ページ)

「道内の半年間の意識の変化」ならびに「道外との意識の比較」について、特に違いのあった調査結果を纏めております。

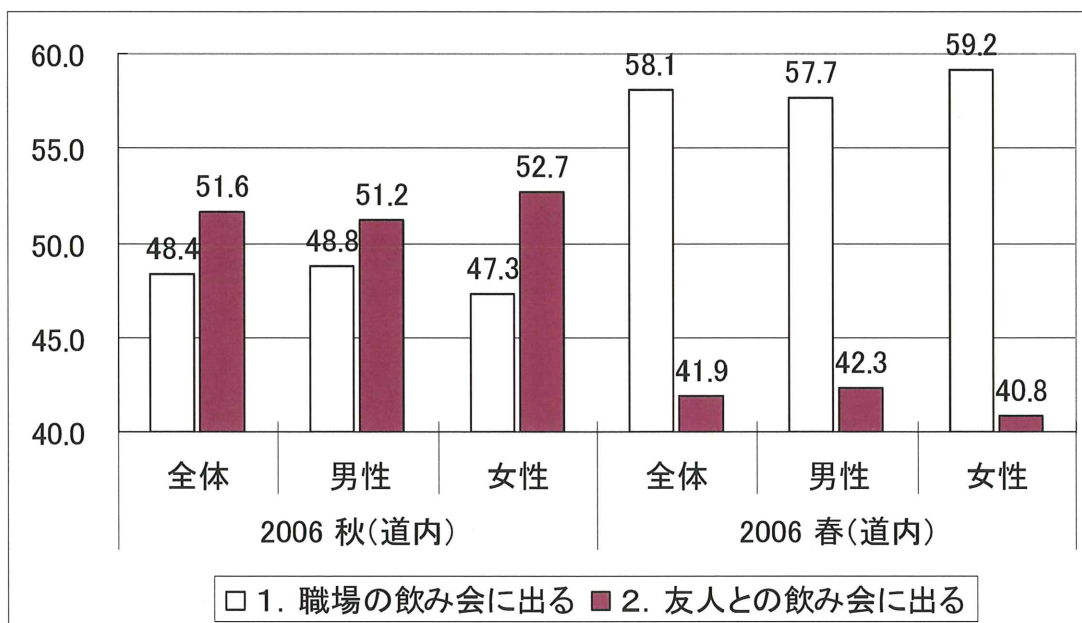
(2) 集計表(3ページ)：全ての設問データを掲載しております。

(3) 属性(1ページ)：調査対象者の属性(性別・年齢など)を掲載しております。

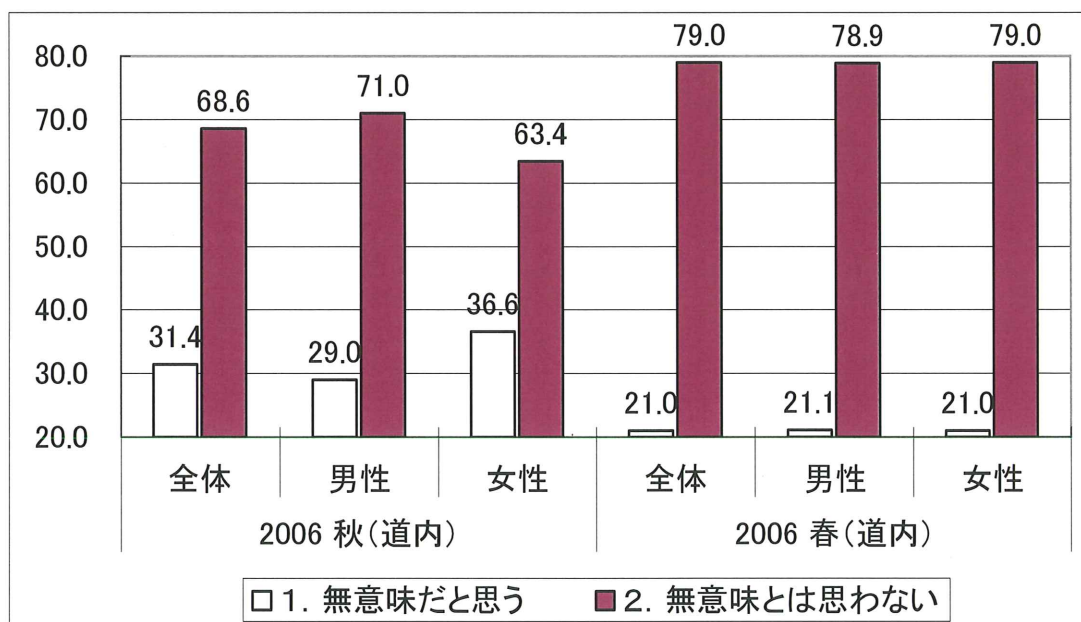
3. 調査結果要旨：

(1) 道内の半年間の意識の変化

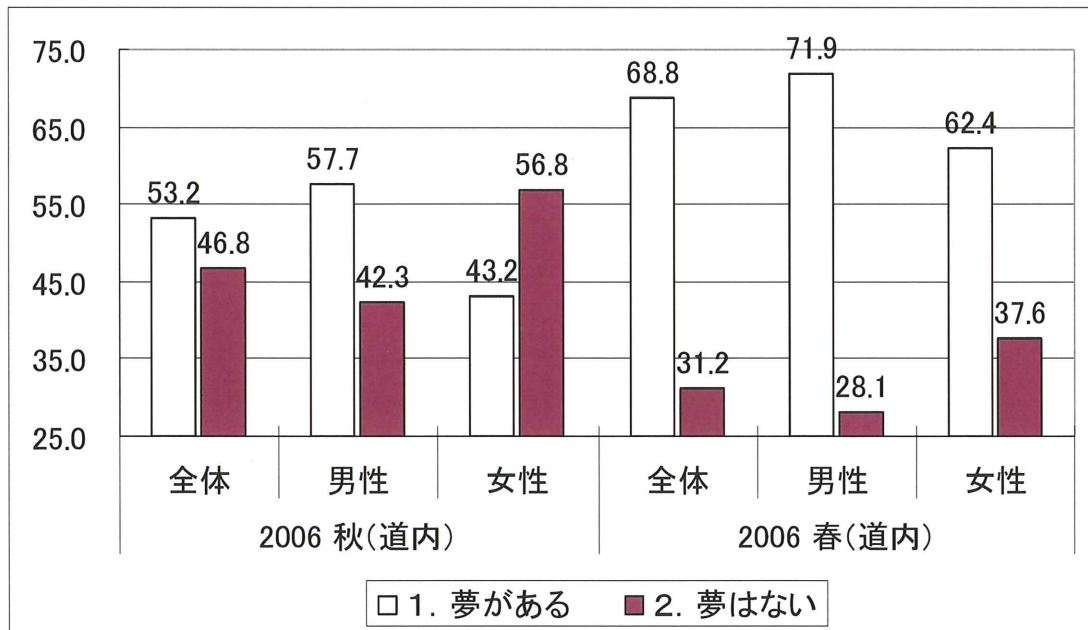
①職場の飲み会があり、そこでは職場のウラ情報が聞けそうですが、既に学校時代の友人との先約がある場面での対応について、「職場の飲み会に出る」が秋 48.4%、春 58.1%、「友人との飲み会に出る」が秋 51.6%、春 41.9%となり、男女とも「友人との飲み会」を「職場の飲み会」より優先する傾向が強まり、春の調査と比べて関係が逆転した。〈Q4(c)〉



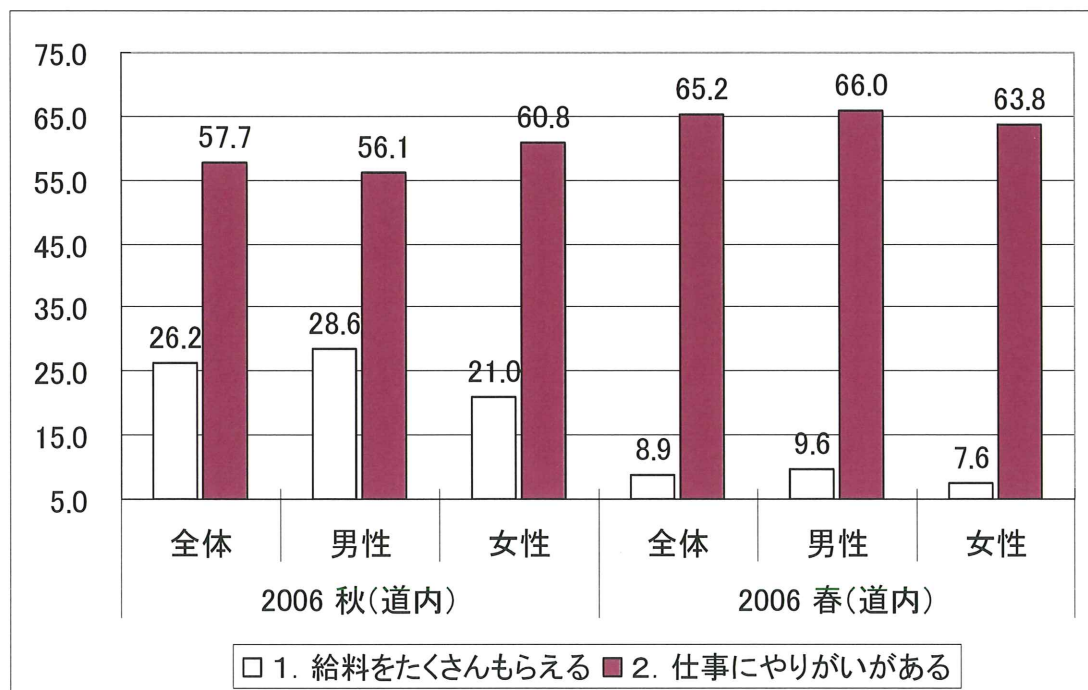
②自分のキャリアに反する仕事を我慢して続けることについて、「無意味だと思う」が秋 31.4%、春 21.0%、「無意味とは思わない」が秋 68.6%、春 79.0%となり、「無意味だと思う」の割合が男女とも上昇した。〈Q6(a)〉



③自分には仕事を通じて、かなえたい夢があるかについては、「夢がある」が秋 53.2%、春 68.8%、「夢はない」が秋 46.8%、春 31.2%となり、男女とも「夢がある」が減少し、「夢はない」が上昇した。〈Q6(h)〉

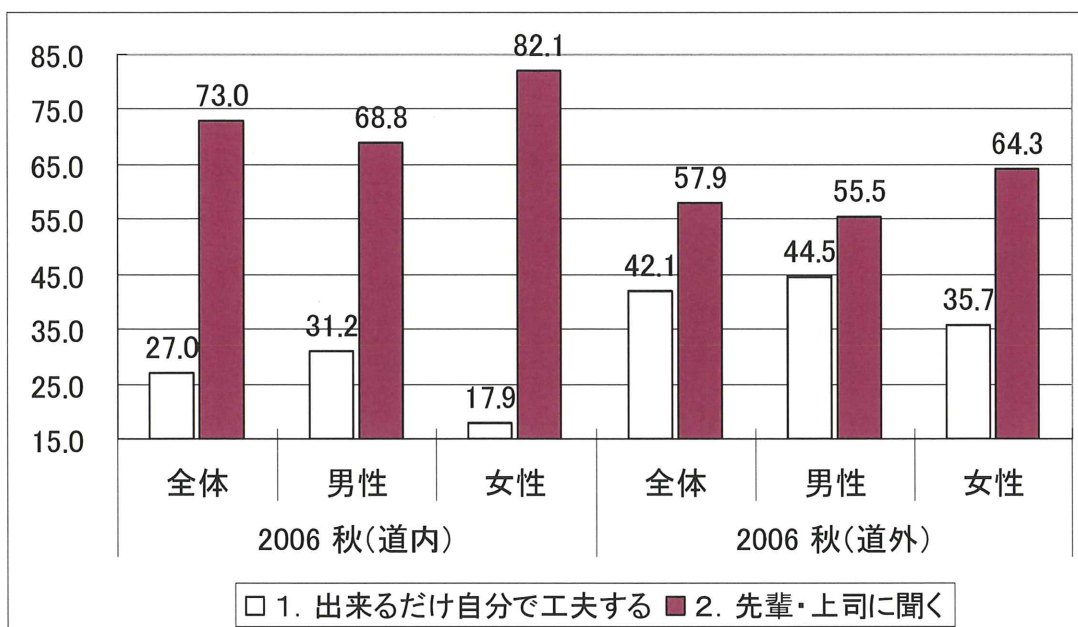


④これから転職するとした場合の転職先の会社は今の会社よりも何を優先するかについて、「給料をたくさんもらえる」が秋 26.2%、春 8.9%、「仕事にやりがいがある」が秋 57.7%、春 65.2%となり、男女ともやりがいより給料を優先する傾向が強まった。〈Q8(c)〉

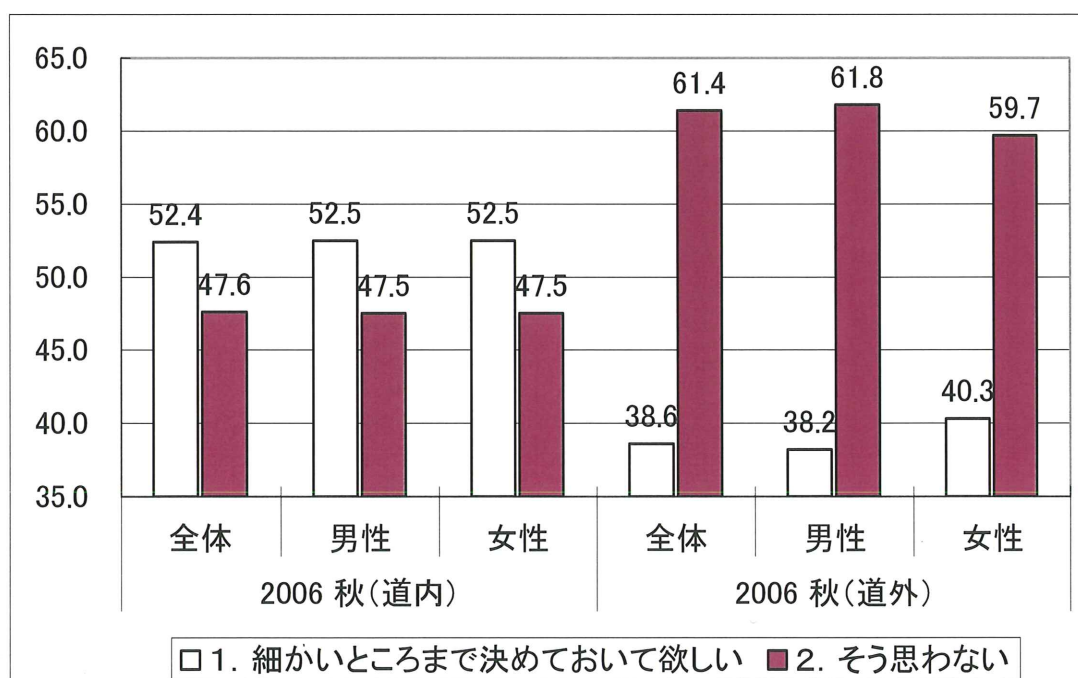


(2) 道外との意識の比較

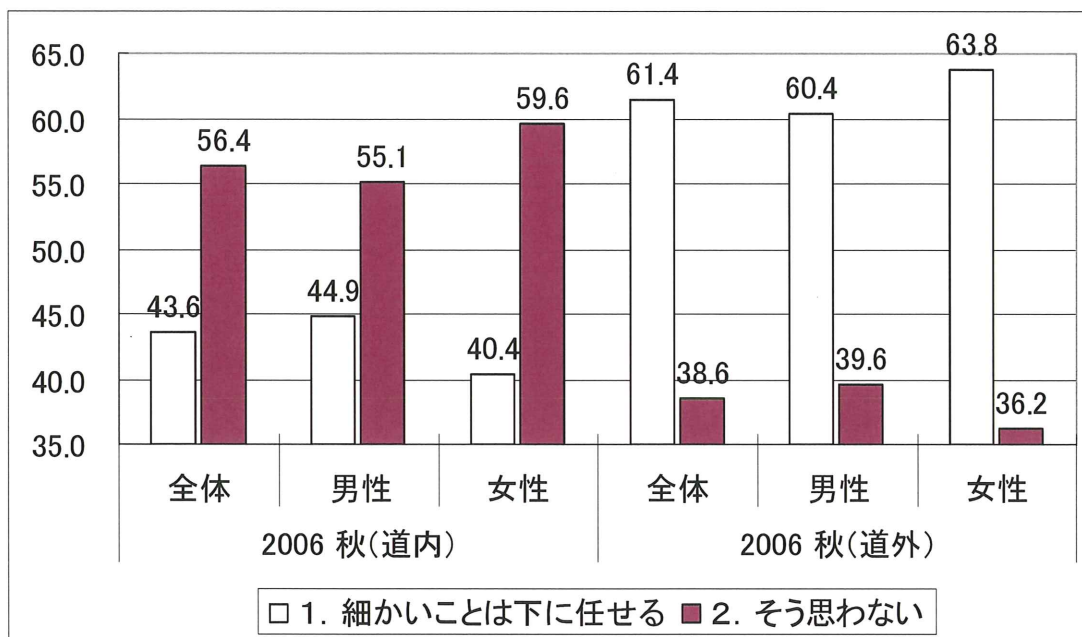
- ① 工作中に研修で教わったマニュアルに書かれていない事が起きた場合の対応について、「出来るだけ自分で工夫する」が道内 27.0%、道外 42.1%、「先輩・上司に聞く」が道内 73.0%、道外 57.9%となり、道内は道外より「出来るだけ自分で工夫する」割合が低い。〈Q4(b)〉



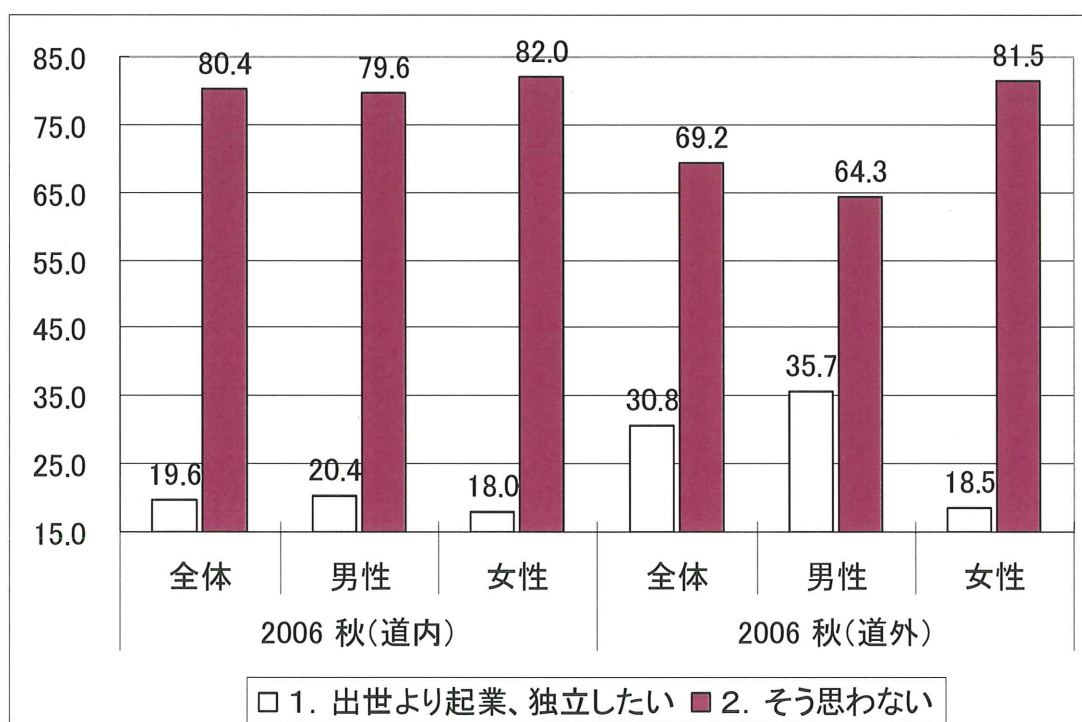
- ② 仕事の手順について、「細かいところまで決めておいて欲しい」が道内 52.4%、道外 38.6%、「そう思わない」が道内 47.6%、道外 61.4%となり、道内は「細かいところまで決めて欲しい」、道外は「そう思わない」の割合が高く、意識の逆転が見られる。〈Q6(b)〉



- ③上司について、「細かいことは下に任せ、いつも大きな目で仕事を見ていて欲しい」が道内 43.6%、道外 61.4%、「そう思わない」が道内 56.4%、道外 38.6%となり、道外は「細かいことは下に任せる」、道内は「そう思わない」の割合が高く、意識の逆転が見られる。〈Q6(g)〉

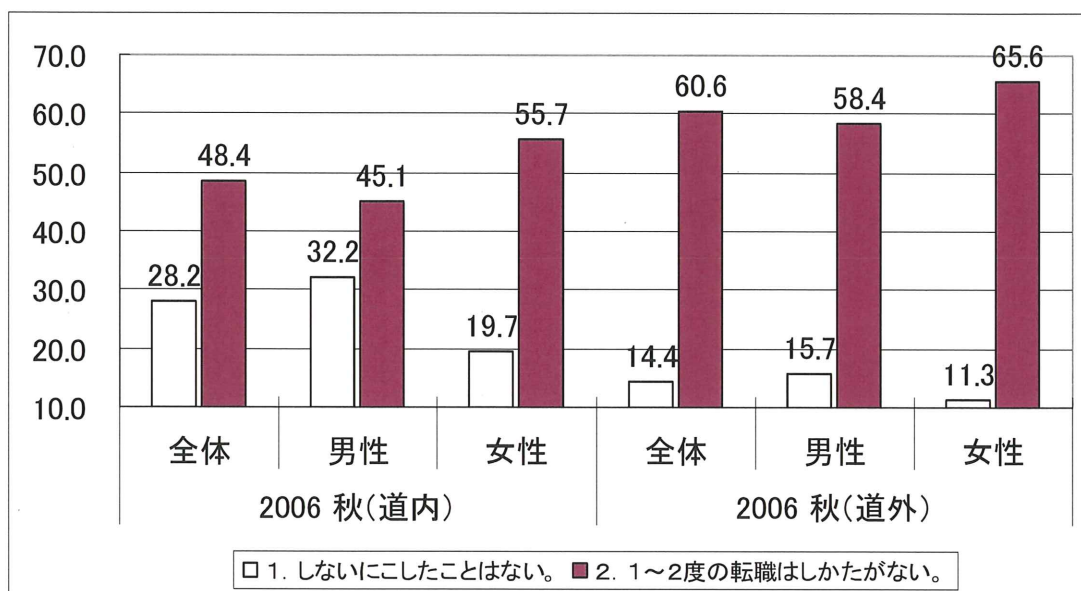


- ④将来のキャリアプランについて、「社内で出世するより起業して独立したい」が道内 19.6%、道外 30.8%、「そう思わない」が道内 80.4%、道外 69.2%となり、道内、道外とも「そう思わない」が多いが、道外の方が起業、独立の意識が強い。〈Q6(i)〉

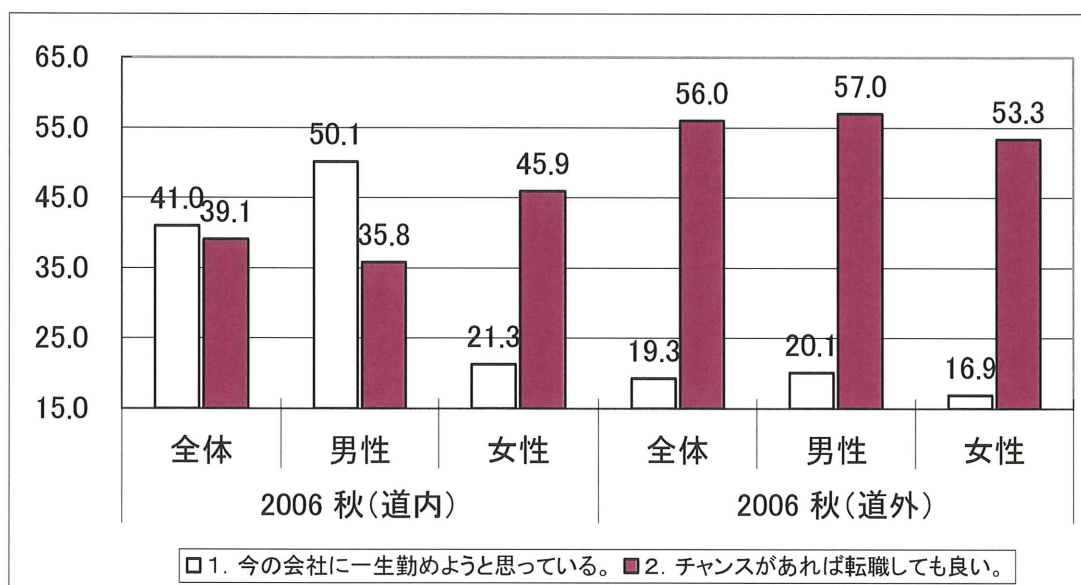


⑤転職について、「しないにこしたことはない」が道内 28.2%、道外 14.4%、「理由があれば1～2度の転職は仕方ない」が道内 48.4%、道外 60.6%となり、道内、道外とも「1～2度の転職は仕方ない」の割合の方が高いが、道外にその傾向が強い。また、「今の会社に一生勤める」が道内 41.0%、道外 19.3%、「チャンスがあれば転職しても良い」が道内 39.1%、道外 56.0%となり、道内は転職に対して否定、道外は肯定的な割合が高くなった。

<Q8(a).(d)>



*その他の内容（「それなりの理由があれば何度してもかまわない。」「いずれでもない。わからない。」）については上表では省略。



*その他の内容（「現在、ぜひ転職したい。」「いずれでもない。わからない。」）については上表では省略。

【お問い合わせ先】北海道生産性本部（担当：澤田）
 〒060-0001 札幌市中央区北1条西2丁目 北海道経済センター 6階
 TEL 011-241-8591 FAX 011-241-3898